

まちづくり交付金 事後評価シート
矢作地区

平成 20 年 12 月

愛知県岡崎市

様式 2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	岡崎市		地区名	矢作地区		面積	85ha	
交付期間	平成18年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年		交付対象事業費	1,486	国費率	0.357		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
			基幹事業	市道矢作14号線改良工事、市道東洋紡績南北5号線改良工事、矢作橋駅南口自転車駐車場、岡崎市西部地域交流センター							
			提案事業	矢作東小学校校地拡張事業、矢作東小学校屋外便所設置事業、矢作市民センター施設整備事業、矢作支所 調理室（交流センター内）							
	当初計画から削除した事業		事業名			削除 追加の理由			削除 追加による目標、指標、数値目標への影響		
			基幹事業	-	-	-	-	-	-	-	-
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-	-	-	-	-	-	-
			提案事業	-	-	-	-	-	-	-	-
交付期間の変更		当初	-	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-	-	-	-	
		変更	-				-	-	-	-	
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	市民活動施設利用者数	人/年度	28,840	平成15年度 56,300	-	109,902		あり なし	西部地域交流センターの整備、矢作市民センターの機能の充実などにより、市民活動施設の利用者数は目標値を達成している。	平成21年4月
	指標2	矢作地域に本拠をもつ市民団体数	団体	10	平成16年度 25	27	40		あり なし	西部地域交流センターの整備、矢作市民センターの機能の充実、矢作東小学校における学校開放施設の充実により、市民団体が活発化し、団体数が増加したことにより、地域に本拠をもつ市民団体数は目標値を達成している。	平成21年4月
	指標3	矢作橋駅乗降客数	人/年度	1,893,469	平成15年度 1,930,000	2,054,308	2,114,963		あり なし	道路や下水道整備など都市基盤の充実による地区の人口増加、自転車駐車場の充実による放置自転車の減少、西部地域交流センターへの利用者の増加の影響などもあり、駅乗降客数は増加している。	平成21年9月
	指標4	-							あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度 ¹⁾	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	-									
	その他の数値指標2	-									
その他の数値指標3	-										
4)定性的な効果発現状況	矢作橋駅周辺の利便性・快適性の向上 まちづくりを担う地域力を育む環境の充実 安全・快適な生活環境の土台となる都市基盤の充実										
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	交付期間中(中間期)におけるモニタリングの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				モニタリング時からの事業の進捗による効果の変化等を踏まえて、事後評価を適切に実施する。		
	住民参加プロセス	・西部地域交流センターの基本設計・運営方法の検討にあたっての住民参画(市民検討会議の開催) ・西部地域交流センターの基本設計・実施設計にあたっての報告会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				西部地域交流センターを拠点として活用する地域活動が発展するよう、施設の企画・運営について住民の意見を反映させるための組織(運営懇談会)の成立を目指す。		
持続的なまちづくり体制の構築	・指定管理者による西部地域交流センターにおける運営方法の検討 ・自主防災組織・活動の充実・活発化			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				西部地域交流センターの企画・運営について住民の意見を反映させるための組織(運営懇談会)の成立を目指す。 ・西部地域交流センター内の防災活動室を拠点として、自主防災活動を支援し、活動の充実・活発化を図る。			

様式 2 - 2 地区の概要

矢作地区 (愛知県岡崎市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 安全で良好な生活環境を創出する交流とふれあいのまちづくり推進 目標 1: 市民活動の多様化と地域住民の交流促進を支援し地域の活性化を図る 目標 2: 地域整備を行い安全で安心な地域環境をつくる 目標 3: 災害に備え、地域住民が安心して暮らせる生活環境の充実		市民活動施設利用者数	単位: 人 / 年度	28,840	H15年度	56,300	H20年度	109,902	H20年度
		矢作地域に本拠をもつ市民団体数	単位: 団体	10	H16年度	25	H20年度	40	H20年度
		矢作橋駅乗降客数	単位: 人 / 年度	1,893,469	H15年度	1,930,000	H20年度	2,114,963	H20年度
			単位:						
			単位:						

西部地域交流センター建築工事 総延床面積: 253.2㎡

基幹事業
 RC造 3階建 延床面積 2,160㎡
 駐車台数 約100台
 ・市民活動ステーション
 ・活動室: 3室
 ・防災活動室
 ・多目的ホール 400席 他

提案事業
 行政機関出張所機能: 矢作支所 30.7㎡
 調理室 65㎡

提案事業
 矢作東小学校校地拡張事業
 面積 2,000㎡

基幹事業
 市道矢作14号線改良工事
 L=50m W=50m 75m

提案事業
 矢作東小学校屋外便所設置事業
 1棟

関連事業
 国道1号岡崎環境整備事業
 L=1,400m
 W=180m 300m

まちの課題の変化	北口と南口の自転車駐車場の利用者の偏りを解消するよう利用方法の改善が必要。 国道 1号や下水道整備の推進による都市基盤の充実を図り、健康的な生活環境、地震、浸水などの災害に備え、安全に暮らせる環境を市民に提供する。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	矢作市民センター・西部地域交流センターの機能の充実・相乗効果を図るとともに、地域行事への参画など、両施設と地域コミュニティとの連携の強化を図る。 矢作東小学校における学校開放事業を推進し、地域コミュニティの活性化を図る。 駅周辺の道路環境の整備、自転車駐輪場の利用者の偏りを解消し、駅周辺の利便性・アクセス性の向上を図り、住民が交流しやすい環境をつくる。 道路整備による安全性・快適性のさらなる向上、地域の防災対策の充実、自主防災活動の支援・充実などにより、安全に暮らせる環境を市民に提供する。